

基調講演	8月20日（月）12:30 - 12:50	
	秋山 演亮（和歌山大学・千葉工業大学）	
インターカレッジ安全管理担当による安全審査に関する発表	8月20日（月）12:50 - 13:25	
第14回能代宇宙イベントにおけるハイブリッドロケット安全審査	田中 進夢、岩崎 愛樹、久保崎 滉太、平田 孝佑（第14回能代宇宙イベントロケット安全管理）	

休憩15分

共同実験場が属する自治体担当者からの発表	8月20日（月）13:40 - 14:25	
	能代	
	加太	
学生ロケット開発団体による発表（1）	8月20日（月）14:25 - 15:05	
ハイブリッドロケットモータ設計における安全	濃沼 悠斗（東海大学学生ロケットプロジェクト）	当団体で現在開発運用されている自主開発ハイブリッドロケットモータ（THRシリーズ）は、開発過程における地上燃焼試験や打上げ実験において発生した事故やトラブルによって多くの設計変更がなされている。これらの事故やトラブルを事例として挙げ、それらから得た安全策によるTHRシリーズにおけるの設計の変遷について報告する。
地上支援設備の構築について	須藤 響子（東北大学FROM THE EARTH）	4年前から開発が始まり12th能代宇宙イベントで運用成功した地上支援設備(GSE)について、「開発の経緯」, 「FTEのGSEにおける工夫」, 「安全面での注意点」について発表する。特に①継ぎ手にガスケットやシールテープをなぜつけるのか, ②部品の探し方(特にレギュレータや圧力計), ③部品の管理方法について, ④練習方法についてについて詳しく説明する。最後に安全についてGSEの実際の運用時に気を付けていることについて共有する。

休憩15分

特別講演(1)	8月20日（月）15:20 - 15:40	
	堤 明正（ヤマトプロテック株式会社）	
学生ロケット開発団体による発表（2）	8月20日（月）15:40 - 16:20	
小型ロケット回収用を用いる小型パラシュートの開傘衝撃について	田中 進夢（東海大学学生ロケットプロジェクト）	減速装置としてパラシュートを用いる小型のハイブリッドロケットの設計においてパラシュートの開傘衝撃はその荷重オーバーによって重要な評価荷重となりうる。しかし、小型パラシュートにおける開傘衝撃の報告は少なく、過大な荷重を見積もることで安全を担保していた。しかし、過大な荷重は構造効率の悪化を招き、適切な荷重見積もりの手法が求められている。ここでは小型パラシュートの風洞実験およびロケット打上実験における開傘衝撃について報告し、開傘衝撃の見積もり手法について議論する。
亜酸化窒素タンクの運用・管理について	岸里 大輝（東海大・院）、竹澤 遼（横国大・院）、和田 豊（千葉工大）	第14回能代宇宙イベントでは海打実験に使用した亜酸化窒素タンクの再使用を禁止とした。これは、亜酸化窒素の自己分解反応発生条件が明確でないことに起因する。本発表では小型ロケット用亜酸化窒素タンクを運用する際の懸念事項や、第14回能代宇宙イベントの海打タンク再使用禁止判断についての詳細について共有し、亜酸化窒素タンクの管理方法、安全対策の考え方について議論する。
特別講演(2)	8月20日（月）16:20 - 17:20	
	金井 竜一郎（インターステラテクノロジズ株式会社）	